

活動記録書

開催日： 令和8年5月7日(木) 天候 晴	開催テーマ： 「失われゆく田浦の近代化遺産と三浦三十三観音・景德寺を巡る」
記入者： 浜辺隆文	
参加人数： 会 員 20 名 準会員 1 名 計 21 名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 等）： コース： 京急田浦駅（WC）～南郷公園(集合)～旧海軍工廠造兵部（東芝ライテック(株)正門）～機銃試射場跡～旧造兵部本館庁舎（製函工場）～旧鍛錬工場事務所～景德寺（昇堂拝観、WC）～船越トンネル～海上自衛隊第2術科学学校前～JR 田浦駅（WC）～相模運輸倉庫(株)F号倉庫～引き込み線交差～比与宇トンネル～安針塚駅傍の公園(解散)</p> <p>今回は田浦・長浦湾に広がる近代化遺産として評価される旧日本海軍関連の旧施設跡や現在の海上自衛隊の施設をめぐった。好天に恵まれた環境のもと、当時の戦争世代に思いを馳せながら歩いた。</p> <p>集合は京急田浦駅裏の南郷公園、埋め立てたと言われる仲本通りに入り、商店街を直進すると東芝ライテックに突き当たる。東芝ライテック工場の地は元旧海軍工廠造兵部であり、ここで機銃弾や曳光弾、焼夷弾用火薬などが作られていた。周りを歩くと、50mにおよぶコンクリート製の地下道からなる射撃試射場の他、艦船に砲台を設置するためのガントリークレーン跡や、壁や窓に当時の面影が残るレンガ造りの旧鍛錬工場事務所などがある。</p> <p>裏側の道を進むと左に海上自衛隊・艦隊司令部が臨める。戦前、旧横須賀海軍工廠の「光学、航海、電池」の各実験部があった。戦後は栄光学園があったこともある。現在は海上自衛隊艦隊司令部が置かれている。2002年新庁舎が完成し、海上作戦センターの運用が開始された。ここでは各司令部が集約され、一元的で迅速な部隊運用が可能になったと言われる。</p> <p>東芝ライテックを出ると、三浦三十三観音の一つ景德寺がある。ちょうど、12年に一度の本開帳に当たり昇堂拝観した。景德寺の宗派は臨済宗円覚寺派、本尊は十一面観音。観音様が朱色の船に乗せられて入り江に流れ着いたのを里人が大事に拾い上げてお祀りした。「観音様が船でお越しになった」ところから「船越」の名前が生まれたとも言われる。金色の十一面観音を拝観。</p> <p>景德寺を出て、横に旧田浦トンネル出口跡を見てさらに進むと第2術科学学校がある。ここは旧水雷学校跡に出来た学校で、海上自衛隊の専門教育体系の一つとして、艦艇の心臓ともいべき機関、電機等及び情報戦、外国語、通信、気象海洋といった特殊な部門の専門教育等を行っています</p> <p>次に、JR 田浦駅に立ち寄ってトイレ休憩を取り、安針塚駅へと向かった。途中、イギリス積みレンガの美しい造修補給所倉庫、明治、大正、昭和と三代のトンネルが並ぶ JR 田浦駅・七釜トンネル、相模運輸倉庫(株)F号倉庫などがあり長浦港一帯には大型倉庫が建ち並んでいる。</p> <p>途中引き込み線（交差）が見え、ここでは JR 田浦駅から米軍の箱崎燃料基地へ続く線路と比与宇トンネルと長浦港倉庫群を結ぶ線路が交差している。周辺には火薬工場や弾薬庫があった。トンネル内まで引き込み線が延び、弾薬の積み下ろしが行われた。</p> <p>比与宇トンネルからさらに歩を進め、安針塚駅にはほぼ予定通りの時間に到着した。</p>	
参加者の状況・意見など <p>当初は心配された天候も当日は暖かい日差しの絶好の探訪日和に恵まれた。日頃訪れることの少ないこの長堀港湾は旧日本海軍の在りし日を彷彿とさせるものであり、又現在の海上自衛隊の存在も再認識できるものであった。参加者の多くは戦争を知らない世代ではあるが、親の世代が戦争を体験しており、身近な感覚で見ることが出来た。歩行ルートはやや長距離であったものの、平坦な道が多く、予定通りの時間内に無事終えることが出来た。</p>	
回の予定： ・6月12日(金)10時 JR 大船駅南改札集合 「地底の密教伽藍・田谷の洞窟を訪ねる」	